

第3章 景観資源の考察と課題の整理

1. 地区別の景観特性と課題

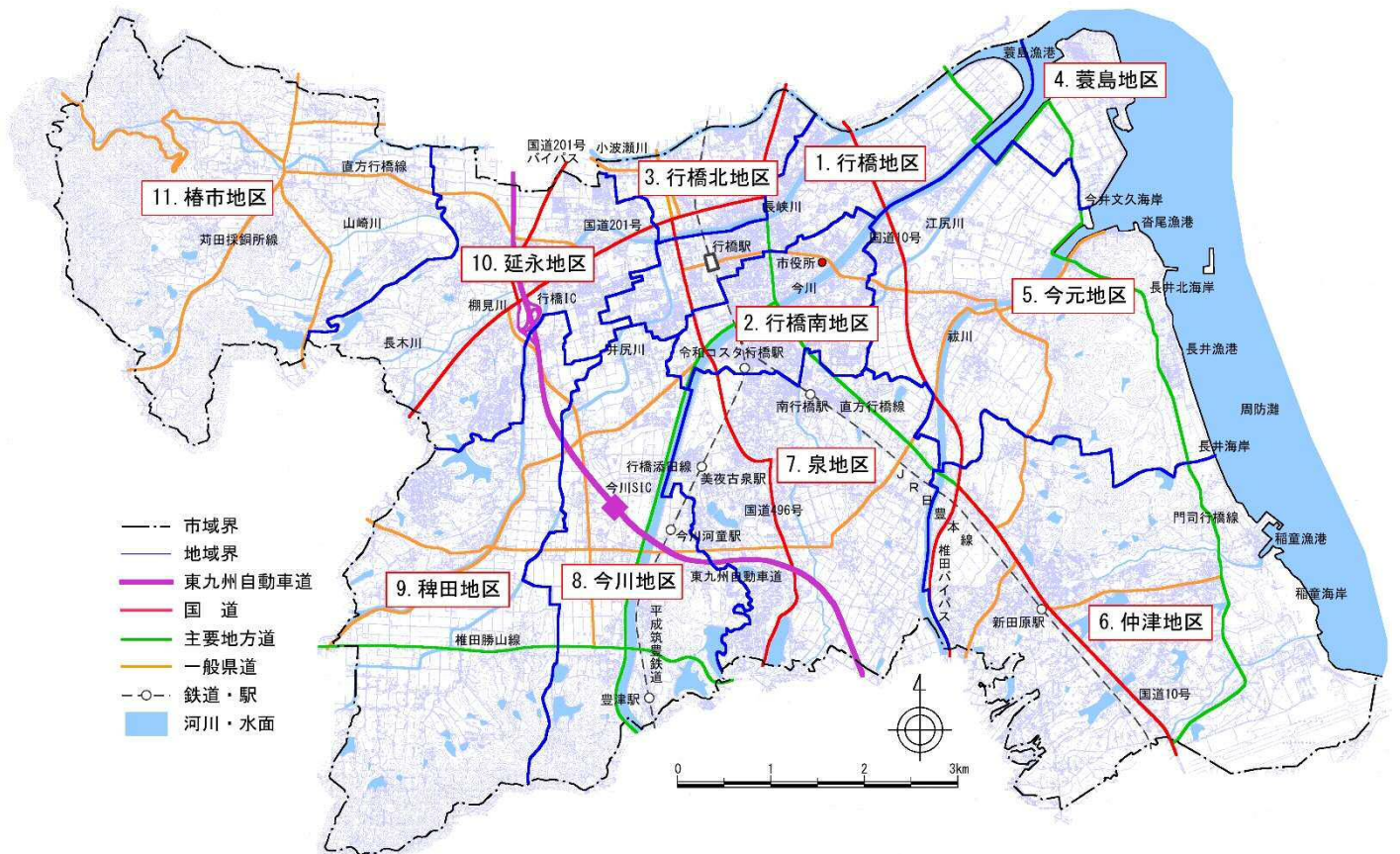
(1) 地区区分

◇市域全体において、ある程度同質の空間的性格を持った地区及び同質の景観上の基礎的な条件を持った地区等に着目し、地区レベルの景観特性を面的に捉えるため、小学校区を基本とした以下の11の地区に区分します。

■地区区分

番号	地区名	小学校区名	番号	地区名	小学校区名
1	行橋地区	行橋小学校	7	泉地区	泉小学校
2	行橋南地区	行橋南小学校	8	今川地区	今川小学校
3	行橋北地区	行橋北小学校	9	稗田地区	稗田小学校
4	菟島地区	菟島小学校	10	延永地区	延永小学校
5	今元地区	今元小学校	11	椿市地区	椿市小学校
6	仲津地区	仲津小学校			

■地区区分図



(2) 地区別の景観特性と課題

◇地区別景観特性と課題を以下に掲げます。

■地区別の景観特性と課題

番号	地区名	地区の概要	課題	写真
1	行橋地区	市のほぼ中心に位置し、J R行橋駅を中心に東西に長く、東側は今川と長峡川に挟まれて水田地帯が広がっている。地区の中心部では、駅の東側に商店が形成され交通量が比較的多く、老朽化したセミアーケードや空店舗が所々に見られる。また、令和2年4月にリブリオ行橋（図書館等複合施設）が供用開始予定である。駅の西側は土地区画整理事業により整然とした市街地が形成され、高層住宅が立地しており、区画整理内の道路幅員は広く、街路樹も設置されている。	<ul style="list-style-type: none"> ○商業施設が最も集積し、賑わいの再生や界限性の雰囲気醸し出す景観の形成。 ○駅西側の高層建築物の規制誘導による遠景景観の確保。 ○舟路川や歴史的・文化的景観資源の保全による景観の形成。 ○地区東側の田園風景の保全。 	 <p>旧百三十銀行(煉瓦造建築物)</p>  <p>駅西側道路沿道</p>
2	行橋南地区	J R行橋駅の南側に位置し、地区の中心を東西に今川が貫流している。また、行橋市役所をはじめ、警察署などの各種公共施設が集積している。駅南側には、大型商業施設が立地している。	<ul style="list-style-type: none"> ○今川や舟路川を活かした水辺景観の形成。 ○行政施設や各種文化施設を中心とした落ち着いた雰囲気を持つまちなみ景観の形成。 ○正八幡宮など貴重な歴史資源を活かした緑の確保による景観の形成。 	 <p>舟路川</p>  <p>今川</p>
3	行橋北地区	J R行橋駅の北側に位置し、地区の南側を東西に長峡川が流れている。また、苅田方面からの玄関口ともなる地区である。主に住宅地で構成されている地区である	<ul style="list-style-type: none"> ○長峡川を活かした水辺景観の形成。 ○住機能を基本とした良好な住宅地景観の形成と緑地の確保。 ○旧飴屋門など貴重な歴史資源を活かした歴史的景観づくり。 	 <p>住宅地道路沿道</p>  <p>旧飴屋門</p>
4	蓑島地区	今川と長峡川の河口部に位置し、漁業集落を中心とした地区である。地区内には、緑のシンボルとなる蓑島山があり、蓑島神社、菅原神社が存在している。また、未利用地が比較的多く広がっており、集落内の生活道路は幅員が狭くなっている。	<ul style="list-style-type: none"> ○蓑島山を地区のランドマークとした景観の形成。 ○菅原神社との調和を考慮した海辺景観の形成。 ○市民のスポーツ・レクリエーションの場を中心とした景観の形成。 	 <p>蓑島山</p>

番号	地区名	地区の概要	課題	写真
5	今元地区	本市の東側に位置し、田園地帯が広がる中に集落が祓川沿いに立地している。周防灘に面し、地区内の中央を祓川が貫流し、沓尾海岸や長井浜海水浴場が存在する。また、今井から元永地区にかけては、歴史的景観を有する建物が軒を連ね、小京都の風情が漂っている。	<ul style="list-style-type: none"> ○須佐神社や浄喜寺を含め、今井から元永にかけての歴史的景観づくり。 ○沓尾海岸や長井浜海水浴場をはじめとした海辺景観の形成。 ○祓川の水辺景観の形成と広大に広がる田園景観の保全。 	 <p>県道元永高瀬線沿道</p>  <p>長井浜海水浴場</p>
6	仲津地区	本市の南東部に位置し、農地と住宅地が混在しながら、地区中央を南北に走る国道10号沿道に商業施設が立地している。特に新田原駅付近は商業施設の集積が見られる。また、東側は周防灘に面し、稲童海岸や石並松原が広がっている。さらに、県道稲童新田原線沿道には、赤煉瓦塀を有する個性ある住宅が点在している。	<ul style="list-style-type: none"> ○赤煉瓦塀を活かした個性ある沿道景観の創出と住宅地景観の形成。 ○稲童海岸と石並松原及び良好な海岸線の景観の保全。 ○築上町方面からの玄関口として、国道10号沿道の景観形成。 	 <p>稲童海岸・石並松原</p>  <p>県道稲童新田原線沿道</p>
7	泉地区	本市の南部に位置し、田園と住宅地が混在する地区である。地区内には平成筑豊鉄道とJR日豊本線が走っている。また、地区南側には、八景山ニュータウンが立地しており、整然とした住宅地が形成され、メインの通りには街路樹が整備されている。さらに、その東側には、釜割の池があり、良好な水辺景観を呈し、水鳥などの野鳥が見られる。	<ul style="list-style-type: none"> ○釜割の池を活かした潤いのある水辺景観の保全と創出。 ○鉄道寄りの住宅地は、車窓景観を考慮した良好な住宅地景観の形成。 ○基盤整備の整った田園景観の保全。 	 <p>八景山ニュータウン</p>  <p>釜割の池</p>
8	今川地区	本市の南部に位置し、基盤整備の整った田園が広がる中に、今川が南北に流れ、その東側に桜の名所である矢留山が存在する。さらに、大池や天生田池などがあり、自然環境豊かな田園景観を有する地区となっている。また、平成筑豊鉄道の今川河童駅には、ユーモラスな河童の銅像が置かれている。	<ul style="list-style-type: none"> ○基盤整備の整った田園景観の保全とその背景となる周辺山林の保全。 ○車窓からの景観を考慮した今川の水辺景観の創出と保全。 ○河童を切り口とした個性豊かな地区景観の創出。 	 <p>田園風景と背景の山林</p>  <p>今川河童駅・河童の銅像</p>

番号	地区名	地区の概要	課題	写真
9	稗田地区	本市の南西部に位置し、基盤整備の整った田園が広がる中に集落が点在している。また、地区の南側には、背景や遠景となる馬ヶ岳をはじめとした斜面緑地が広がり、自然環境豊かな地区である。さらに、行橋ニュータウン宮の杜が地区西側に整備されており、野鳥公園と隣接して緑豊かで整然とした住宅地が形成されている。	<ul style="list-style-type: none"> ○基盤整備の整った田園景観の保全とその背景となる周辺山林の保全。 ○水哉園等を活かした垣や庭木の整備による良好な住宅地景観の創出。 	 <p>野鳥公園</p>  <p>御所ヶ谷神籠石</p>
10	延永地区	本市の西方に位置し、一団となった住宅地が数箇所整備され、その周辺に田畑が広がる、住機能を主とした地区である。地区内には国道 201 号が東西に走り、その沿道には商業施設が少し立地している。また、ビワノクマ古墳や八雷神社・八雷古墳など歴史的資源も点在している。	<ul style="list-style-type: none"> ○点在する歴史的資源の活用による景観形成と地区個性の創出。 ○良好な沿道景観の形成による沿道型商業施設との調和。 ○周辺環境と調和した良好な住宅地景観の形成と田園等の自然環境の保全。 	 <p>八雷神社</p>  <p>ビワノクマ古墳</p>
11	椿市地区	本市の西端に位置し、田園と山間部が大半を占める自然環境が非常に豊かな地区である。その中に農業集落が点在し、緑豊かな住環境が形成されている。また、御清水ヶ池があり、観音山が背景となって緑と調和した水辺空間となっている。さらに、福丸古墳や椿市廃寺跡などの歴史的資源も多く点在し、地区内の貴重な景観資源となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ○遠景や市街地からの眺望の背景となる斜面緑地として周辺の山林や田園景観の保全。 ○点在する歴史的資源の活用による景観形成と地区個性の創出。 	 <p>御清水ヶ池</p>  <p>田園風景と背景の山林</p>

2. 景観資源の概要

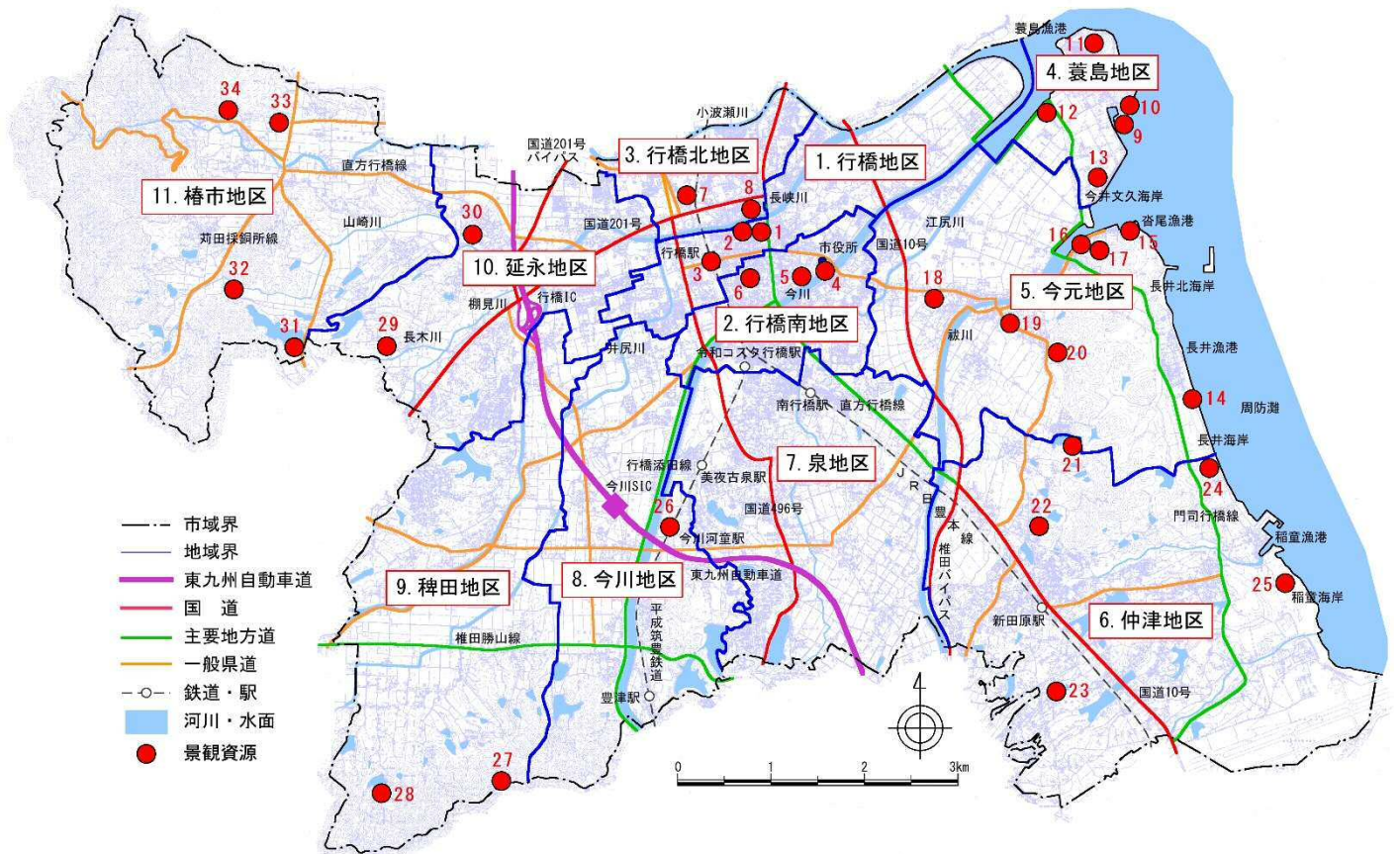
(1) 景観資源の類型と景観資源の位置

◇景観資源は、多様な要素が兼ね備えられており、これらの特性を考察するため、ここでは本市の景観資源を自然景観、歴史・文化景観、まちなみ景観の3つの類型に分類します。以下に景観資源の類型と景観資源の位置図を示します。

■景観資源の類型

類 型	自然景観	歴史・文化景観	まちなみ景観
	A	B	C
主な景観資源	蓑島山、平尾台、観音山、馬ヶ岳、周防灘、住宅街生垣、街路樹、公園、池、里山の森、海岸、河川敷等	花火、海岸沿いから見る養殖場、神社仏閣、近代建築、石碑、鳥居、参道等	車窓（列車・車）から見る沿道・沿線の市街地、沿道看板、ポケットパーク、街区公園、商店街、大型公共施設等

■景観資源の位置図



(2) 景観資源の概要及び考察

◇本市の景観資源について、概要及び考察を整理して以下に掲げます。

■景観資源の概要及び考察

地区番号 類型	景観資源 名称	概要及び考察
行橋 1 B	道標	<p>本市が江戸時代の昔から交通の要衝であることを物語る貴重な歴史資料である。</p> 
行橋 2 B	旧百三十銀行（煉瓦造建築物）	<p>大正3年に百三十銀行行橋支店として建てられたレンガ造りの建物で、県の有形文化財に指定されている。建物はカラー舗装された商店街の細街路の中に建ち、平成13年度に行われた改修工事により、現在はギャラリーとして活用されている。</p> 
行橋 3 B	JR行橋駅	<p>交通の円滑化と周辺地域の都市機能の向上を図るため、平成11年に高架駅となる。駅舎は3次曲線の上家屋根と透明の防風スクリーン、発光コイルを巻いた弓なりの柱などで外観が構成され、平成筑豊鉄道との相互乗り入れ駅になっている。本市の交流玄関口として新たな中心市街地の景観の一つとなっており、東西の駅前広場には、クスノキやケヤキが植樹され、シンボリックなオブジェも設置されている。</p> 
行橋南 4 A	市役所横今川河畔	<p>今川兩岸の良く整備された河川敷一帯は、桜並木や菜の花、コスモスの名所となっており、花火大会などの行橋を代表する夏祭り「こすもっぺ」も河川敷で開催されている。</p> 
行橋南 5 C	コスமைト行橋	<p>文化の発信拠点として、行橋市の花である「コスモス」と仲間や友達の意味を持つ「メイト」を合わせて命名された複合文化施設であり、1階には文化ホールや図書館、2階は歴史資料館の機能がそれぞれ入っている。建物は近代的なデザインを見せているが、オープンスペースに緑が少ない。</p> 
行橋南 6 A	舟路川	<p>今川と長峽川を結ぶ小運河として作られ、昔は年貢米などの産物を長峽川河口にあった倉に船で運んでいた。左岸は現在歩行者道路となっており、カラー舗装されている。川沿いの住宅の玄関口には生活用の橋がかけられ、特徴的な景観を見せている。</p> 
行橋北 7 B	正ノ宮正八幡神社	<p>行事・草野・長音寺の旧三村の産土様として尊崇され、御祭神は誉田別命（応神天皇）・氣長足姫命（神功皇后）・比咩大神が祀られている。神社は住宅街の中にあり、境内はきれいに整備され、まとまりのある寺社林とともに、巨木もあり、四季折々の情景が楽しめる。</p> 

地区 番号 類型	景観資源 名称	概要及び考察
行橋北 8 B	旧飴屋門	<p>行事飴屋は宝永年間頃から栄えた小倉藩屈指の豪商である。藩主を迎え入れるために御成門と呼ばれた薬医門という格式の高い型式で建てられた旧飴屋門は、豪商の風格を今に伝えている。市指定有形文化財（建造物）に指定されており、赤煉瓦の塀とともに沿道の景観を形成している。</p> 
蓑島 9 B	菅原神社	<p>蓑島海水浴場の南に位置し、菅原道真が立ち寄ったとされ、神社の鳥居は、行橋では須佐神社に次いで古いものとされている。境内が砂浜になっており、社寺林の背景とともに、海岸と美しく調和し、良好な景観を形成している。</p> 
蓑島 10 A	蓑島海水浴場	<p>周防灘を望む蓑島地区の突端に位置する海水浴場である。夏は海水浴客で賑わい、遠浅の美しい浜辺は天気の良い日は北九州空港へ続くアーチ上の連絡橋が見渡せる。美しい海岸であるが、周辺部にはコンクリート護岸等が見られるが、台風等の影響によりごみが散乱している時期も見受けられる。</p> 
蓑島 11 A	蓑島山	<p>かつては周防灘に浮かぶ島だったが、埋め立てにより陸続きとなり、現在は樹木が生い茂る小山となっているため、漁業集落の緑の背景となっているため、里山としての保全が必要である。山裾には、浄念寺、宝泉寺、蓑島神社、西方寺等の寺社がある。</p> 
蓑島 12 C	サンワーク ゆくはし	<p>行橋市勤労者総合福祉センター「サンワークゆくはし」は、今川の河口付近に位置する多目的ホールや音楽室を備えた公共施設である。施設では、勤労者の生活をより豊かなものにするために社交ダンスや練功などの教養・健康講座が開設されている。施設の周辺は埋立地であるため、空閑地が広がるが、建物はデザイン性を有し、敷地の周囲は緑化されている。</p> 
蓑島 13 C	行橋総合公園	<p>都市計画公園で、潮干狩りで有名な蓑島の海岸沿いに立地しており、体育館や武道館、テニスコート、サッカー場などのスポーツ施設が整備されている。また、オートキャンプ場も整備されている。緑豊かで周辺環境とも調和しており、良好な景観を形成している。</p> 
今元 14 A	長井浜海水浴場	<p>春にはマテ貝掘が楽しめ、夏はビーチスポーツの聖地として様々なイベントが行われている。近年では国内トップレベルのビーチバレーボール大会が開催されている。遠浅の白浜が広がる絶景スポットであり、干潮時に波紋が美しく表れるが、陸地側はコンクリートの防波堤が続き、老朽化した海の家が建ち並んでいる。</p> 

地区番号 類型	景観資源 名称	概要及び考察
今元 15 B	鯨塚	<p>沓尾漁港内にあり、明治36年、漁民たちが捕獲した鯨を供養するために建立したもの。</p>   
今元 16 B	守田蓑洲旧居	<p>江戸時代末期に大庄屋を務めた守田家27代当主守田蓑洲の頃に建てられた。平成20年に市の文化財に指定され、建物を修理するとともに駐車場等を整備し、平成26年5月から一般公開をしている。 祓川河口に沿って走る一般県道沓尾大橋線沿道に位置し、歴史ある旧居の建物と庭は松山神社が位置する沓尾山の緑を背景として、良好な景観を形成している。</p> 
今元 17 B	松山神社	<p>苅田・松山城主の杉弾正弘信らの霊を祀るために、その重臣の子孫であった守田蓑洲によって明治時代に建立された。石段の中腹にある二股の道を下ると三条実美筆の巨大な神勅碑がある。 木竹に囲まれた参道が山頂近くまで続いており、その所々に大きな碑がある。歴史性が感じられる神社であり、集落内道路沿道からは鳥居のみが見える。</p> 
今元 18 B	浄喜寺	<p>明応4(1495)年に開かれ浄土真宗の九州拠点となった大規模な寺院で、梵鐘は県指定有形文化財に指定されている。梵鐘は、今居鋳物師が製作した現存する数少ない遺品として貴重である。 広い境内に、樹木(巨木)や園路が整然と整備され、ゆったりとした空間を呈している。比較的大きな寺で地区のシンボルとなりうる。</p> 
今元 19 B	今井～元永地区	<p>県道沓尾大橋線沿道で小京都の風情が漂い歴史的なまちなみが残る。 白壁の建物や美しい壁を有する建物が立地しており、歴史性や美観性を感じる通りとなっている。さらなる景観形成に向けた事業促進が望まれる地区である。</p> 
今元 20 B	今井津須佐神社	<p>「今井の祇園様」として多くの市民に知られ、主神に須佐之男命を祀り厄除け開運の神社であり、北部九州に約200社の御分社を配する雄社である。丘陵地の斜面緑地内にある、規模の大きな神社である。緑地と一体となって近景としては良好な景観と言えるが、沿道からは見えにくい。</p>  
仲津 21 B	松山子安観音	<p>松山地区の山の中腹にあり、安産と授乳の手助けをすることで知られる観音様が祀られている。年に一度の大祭には護摩焚きなどが行われ多くの参拝者が訪れる。 深い山林に囲まれ、ひっそりと立地し、周辺は豊かな緑に囲まれ観音堂と調和している。大祭時には国道10号にお迎えの幡が立つ。</p>  

地区 番号 類型	景観資源 名称	概要及び考察	
仲津 22 B	隼人塚古墳	<p>仲津地区高瀬に位置しており、周囲を民家と畑に囲まれている。古墳時代後期の前方後円墳であり、石室の形や副葬品から6世紀後半に築かれたものと考えられている。全長約39m、後円部の径は17m、巨石で構築された複室構造の横穴式石室がある。市指定文化財（史跡）に指定されている。</p>	
仲津 23 B	新田原カトリック教会	<p>1930年（昭和5年）に設立され、キリスト生誕2000年・大聖年に、創立70周年記念を迎えた由緒ある教会である。デザイン性豊かな教会が病院に隣接して立地し、地域のシンボリック建物になっている。田園の中に教会、病院、幼稚園等の施設が立地し、教会広場には桜が一体となり、植えられている。</p>	 
仲津 24 A	石並松原	<p>松原が海岸に沿って続いているが、枯れ松や不揃いな松もあるため、若い松の植林がされているが、県道からは確認することは難しい。周辺の特別養護老人ホームの敷地には桜が植えられている。</p>	 
仲津 25 A	稲童海岸	<p>JR行橋駅から長井経由稲童方面へ約8kmの位置にある海岸である。海岸とはいえ砂浜はほとんど無く、干潟のようになっている。アサリやマテ貝の潮干狩りが行われている。海岸へ向かう途中に石碑と鳥居があるが、海岸周辺の未利用地等には雑草が生い茂っているため、手入れが必要である。</p>	
今川 26 C	今川河童駅	<p>駅のすぐ横を流れる今川の河童伝説にちなんだ、夢のあるユニークな名前の平成筑豊鉄道の駅である。駅の周辺には、行橋今川郵便局の河童美術館コーナーなど河童関連をシンボルとした施設も多く、河童をモチーフとした個性豊かな地区の景観の創出に期待がかかる。</p>	
稗田 27 B	馬ヶ岳城跡	<p>京都平野を眼下に一望する豊前の要衝、馬ヶ岳に城が築かれたのは、一説によれば天慶5(942)年ともいわれるが、史料に乏しくははっきりしていない。城の遺構は東西二つの峰を中心に郭が形成され、この西側の峰の平坦地が最も広く本丸跡と考えられている。秀吉の九州平定後、黒田孝高（官兵衛、如水）が、拠点を中津に移すまでの居城であった。</p>	 
稗田 28 A	御所ヶ谷住吉池公園	<p>住吉池を中心に散策歩道や湖面遊歩道、歩道橋、駐車場などを備えたリラクゼーションにピッタリの自然公園である。整備された公園で、周辺の緑と池を活用しており、管理は行橋市が行っている。池畔と道路沿道は桜の名所でもある。</p>	

地区 番号 類型	景観資源 名称	概要及び考察
延永 29 B	八雷古墳 八雷神社	<p>八雷古墳は、観音山からのびる標高約20～30mの低い丘陵の上に位置する前方後円墳である。墳丘の全長は74m、後円部の直径39m、高さ7.1m、前方部の幅76m、高さ7mで、6世紀初頭に築造されている。その規模から豊の国に君臨した歴代首長の墳墓の一つと考えられている。</p> <p>田園の中の緑の杜に八雷古墳があり、すぐ横に八雷神社がある。竹林と社寺林が生い茂り、田園の中のまとまった緑地として良好な景観の形成に寄与している。</p>
延永 30 B	ビワノクマ古墳	<p>長峡川と小波瀬川に挟まれた標高約25mの丘陵の頂上に築かれた古墳時代前期の前方後円墳である。石室の構造や副葬品から5世紀前半の当地域の有力者の墳墓と考えられる。集落地の中の緑の丘状となっている墓地に位置する。</p>
樺市 31 A	御清水池	<p>灌漑用水を目的としたアース型のダムで、ダム本体の天端は九州自然歩道となっている。</p> <p>池の三方はコンクリートブロックで補強され、堤体直下には太陽光発電設備が設置されているため、周辺の緑や田園の景観を阻害している。</p> <p>池の土手には桜並木がある。</p>
樺市 32 A	袂水	<p>観音山の麓にあり、福岡県文化百選の水編に選出されている。</p> <p>「胸の病の観音様」として奉られており、胸の病気に効果的と言われる地下水が湧き出る清水である。その昔乳母が霊泉の水を袂に含ませて延永長者の娘に飲ませたという言い伝えから生まれた。</p>
樺市 33 B	樺市廃寺跡	<p>樺市廃寺跡は、樺市地区福丸の願光寺境内や周辺の水田の地下にある、7世紀末ないし8世紀前半に建立された古代寺院跡である。現在は、旧伽藍の中心部に真言宗願光寺（がんこうじ）が建つが、境内にはかつての講堂の礎石や掘り出された塔の心礎（しんそ）が残る。</p> <p>この寺は京都郡司（みやこぐんじ）など地域の有力豪族により、氏寺として建立されたと考えられている。</p>
樺市 34 B	福丸古墳群	<p>古墳時代後期から終末期（6・7世紀）の50基以上から成る群集墳である。福丸1号墳は巨石で構築された全長13mの長大な横穴式石室が特徴であり、古墳の構造がよくわかる。</p>

3. 景観形成に向けた課題の整理

(1) 自然景観に関する課題

◆山地・丘陵地

- 平尾台など、様々な景観資源の背景となる北豊連山の緑及び葦島山などの身近な海岸部の斜面緑地の保全
- 御所ヶ谷住吉公園や千仏の滝など、レクリエーション施設や名勝周辺の森林の保全
- 幹線道路や鉄道の車窓から眺望できる平地・丘陵地・山なみ等、連続性に配慮した景観の保全

◆海岸・河川

- 稲童海岸、長井海岸、石並松原など、豊前海の自然海岸が織りなす海辺景観の形成
- 緑と水のネットワーク化による良好な河川景観の形成
- 豊かな生態系に支えられた貴重な河川やため池の自然景観を守り、周辺環境と調和する景観づくりや自然を活かした親水空間の創出

◆田園

- 市街地内に残存する緑地の保全活用による次世代に残すことができる緑地の確保と田園景観づくり
- 田園風景や里山風景を保全しつつ、良好な集落環境の形成

(2) 歴史・文化景観に関する課題

◆歴史

- 地区の景観を特徴づけている歴史的遺産の保全・活用とその周辺を含めたまちなみ景観の形成
- 歴史を感じるまちなみ風景の保全と回遊性を考慮したネットワーク化による活用
- 歴史的にも文化的にも貴重な巨木や樹林の維持・保全

◆文化

- 夏の風物詩となっている今井祇園行事など、地区の景観を特徴づけている文化的遺産の保全・活用とこれと調和した周辺のまちなみ景観の形成
- 担い手育成や地域の連携などにより、後世に引き継ぐ祭礼景観の保全

(3) まちなみ景観に関する課題

◆市街地

- 中心市街地の賑わい空間の創出と本市の顔としての魅力と雰囲気のある景観づくり
- 市街地に緑が少ないため、オープンスペースの緑化によるまちなみ景観の形成
- 市街地の各種文化施設など、公共施設の緑化等を軸としたまちなみ景観の形成
- 都市基盤が整備された市街地において、高層建築物の規制誘導による遠景景観の確保
- 低層系の既存住宅地団地においては、宅地内の緑による落ち着いた沿道景観づくり

◆道路

- 本市への玄関口となる主要な道路の修景緑化による良好な沿道景観づくり
- 主要な幹線道路とその沿道の特性に応じた沿道景観づくり
- 沿道景観を阻害している規模の比較的大きな太陽光発電設備及び電柱や架線の整理・統合・地中化等による良好で魅力ある沿道・眺望景観の形成
- 生活に身近な道路において、市民が主体となった花と緑の沿道景観づくり
- 景観に配慮した道路整備の推進

◆公園・緑地

- 緑の基本計画との調整を図りつつ、緑を活用した景観づくり
- 市民に身近な緑の整備による、開放的で緑豊かな住宅地景観づくり
- 海辺のレクリエーション緑地や河川緑地の整備による緑豊かで魅力的な水辺景観の形成